

市川輝海 あきつな 僧侶。明治十六年九月、干四百長野縣生れ、昭和十九年四月、二十一自叙（二八三―二九五）。本名惠一。別號初瀬庵。明治二十八年海軍兵學校卒。白露戦争に従軍、隻脚となる。四十一年剃髮し、修行の傍ら各地を巡回講演。

著書「残花一輪」(猪熊教一郎合著、昭和四年八月十日戦記名著刊行)

會「戦記名著集」(長崎海軍行五百キロ、上海戦争、残花一輪・飛行基地警備誌(戦争之文學傑作

集) 四、林田房雄合著、昭和十五年五月十日潮文閣)等。